

# 次期森林計画についての森林管理署の検討方向

## — 目 次 —

1. 現行計画の概要
  - (1) 国有林野の管理経営に関する基本的な事項
  - (2) 国有林野の維持及び保存に関する事項
  - (3) 国有林野の活用に関する事項
  - (4) 国民の参加による森林の整備に関する事項
2. 次期計画の検討方向(案)

**沖縄森林管理署**

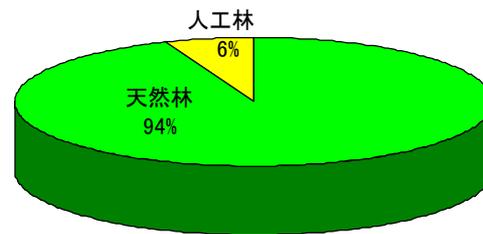
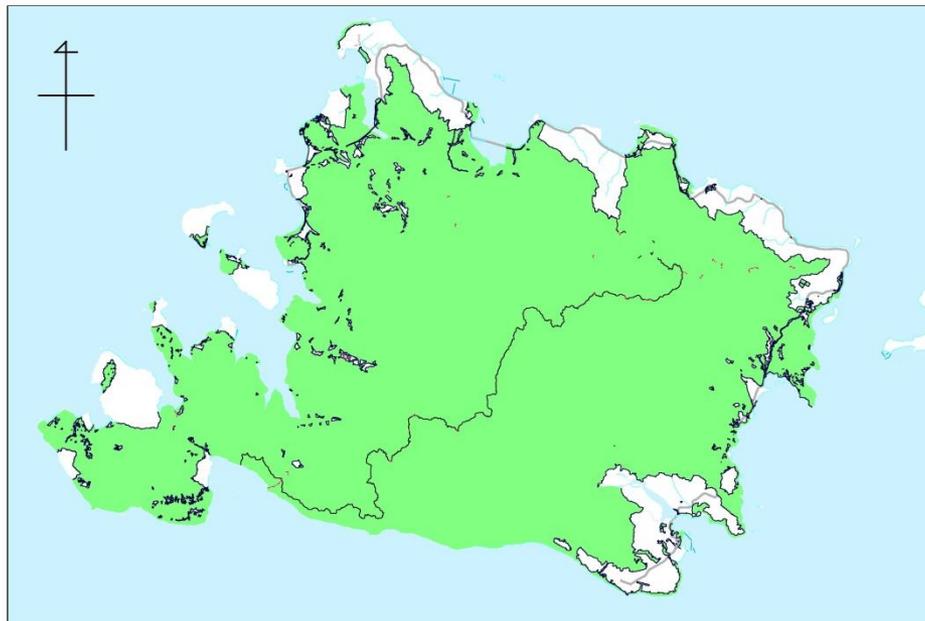
# 1. 現行計画の概要(平成25年4月1日～30年3月31日)

宮古八重山森林計画区

・宮古八重山森林計画の対象は、日本列島の最南西端に位置する八重山群島の西表島に所在する国有林野24,474haです。

・計画区内の全森林面積の62%にあたり、天然林が94%、人工林が6%を占めています。

・オヒルギ等のマングローブ林のほか、スタジイ、オキナワウラジログシ等が、生育し森林レクリエーションや森林環境教育の場として多くの人に利用されています。



# (1) 国有林野の管理経営に関する基本的な事項

## 機能類型に応じた管理経営

国有林野の管理経営に関する基本計画に即して、開かれた「国民の森林」に向けた取組を推進するため、個々の国有林野を重点的に発揮すべき機能に応じて、5つの機能類型に区分し、それぞれの発揮すべき機能に応じて管理経営を行っています。

機能類型区分(面積)	機能類型区分の考え方	目指すべき森林の姿
山地災害防止タイプ (1, 906ha)	山地災害の防止及び土壌保全機能の発揮を重視	根や表土の保全、下層植生の発達した森林
自然維持タイプ (20, 682ha)	原生的な森林生態系や希少な生物の成育・生息する森林など属地的な生物多様性保全機能の発揮を重視	良好な自然環境を保持する森林、希少な生物の育成・成育に適した森林
森林空間利用タイプ (1ha)	保健、レクリエーション、文化機能の発揮を重視	保健・文化・教育的利用の形態に応じた多様な森林
快適環境形成タイプ (0ha)	快適な環境の形成の機能を発揮を重視	騒音の低減や大気浄化など、人の居住環境を良好な状態に保全する役割を持つ森林
水源涵養タイプ (1, 885ha)	水源の涵養の機能を発揮を重視第一とすべき森林	人工林の間伐や伐期の長期化、広葉樹の導入による育成複層林への誘導を図る森林であり、森林資源の有効利用にも配慮

## (2) 国有林野の維持及び保存に関する事項

### ① 生物多様性の保全(保護林)

本計画区には亜熱帯特有の貴重な天然林等が多数存在しており、これらについては保護林を設定し、適切に保護・保全を図っています。

種類	名称	特徴等	面積ha
植物群落保護林	船浦ニツパヤシ	我が国唯一の自生地である船浦のニツパヤシ群落 ヤシ科の1属1種で幹がなく葉が地面から生える雌雄同 株のヤシ、マングローブ林の後背地に育つため準マング ローブ種とされている。	4ha
森林生態系保護地域	西表島	原生的な天然林を保存することにより、森林生態系から なる自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存、 学術研究等に役立てることを目的としている。 マングローブ林の外、スダジイやオキナワウラジロガシ が主体の亜熱帯林で、原生的な天然林が相当程度まと まりを有した地域である。 植物群落全体の種の組み合わせは原生林に極めて近い と言われており学術的にも非常に価値が高い。	20,367ha  (内訳) 保存地区 9,999ha  保全利用地区 10,472ha

## ② 国民生活の安全・安心の確保に向けた効率的・効果的な治山事業の展開

安全・安心の確保に向けた効率的・効果的な治山対策に取り組んでいます。



生態系に配慮した工法等により工事を施工しています。



治山事業の効果や役割について PR看板を設置するとともに、地域住民への復旧工事についての説明会を実施しています。

### (3) 国有林野の活用に関する事項 レクリエーションの森の保健・文化的利用の推進

優れた自然景観を有し、自然観察や野外活動等に適した森林を自然休養林として選定し、多くの方々に提供しています。

種類	名称	概要	面積(ha)
自然休養林	西表 (浦内川地区) (仲間川地区) (ヒナイ川地区)	<p>河川流域にはマングローブ林やスタジイ、オキナワウラジログシなどの亜熱帯広葉樹が茂り、国指定特別天然記念物のイリオモテヤマネコやカムリワシが生息する地域で、浦内川や仲間川では、多くの観光客が観光船やカヌー及び歩道を利用して訪れています。また、ヒナイ川ではカヌーによる遊覧やピナイサーラの滝のツアー見学が主体となっています。</p> <p>なお、仲間川地区内の大富遊歩道沿いには亜熱帯樹木展示林が約10haあり自然観察などの場として利用されています。</p>	<p>浦内川地区 (1,013ha) 仲間川地区 (640ha) ヒナイ川地区 (399ha)</p>

#### (4) 国民の参加による森林の整備に関する事項 国民参加の森林づくりと森林環境教育の推進

国有林野をフィールドとした森林環境教育を推進しています。

地元ボランティアの方々と協力して海岸林の保全を図っています。

地元ボランティア団体にフィールドを提供し、協働して、海岸林の清掃に取り組んでいます。



## 2 次期計画の検討方向

### (1) 管理経営上の課題

- ・ 国有林野が有する水源かん養機能や国土保全機能等の公益的機能の発揮を高めていく必要があります。
- ・ 本計画区には保護林やレクリエーションの森を設定しており、これらの国有林野を適切に管理していく必要があります。
- ・ 本計画区には、絶滅のおそれのあるイリオモテヤマネコ、カンムリワシ等が生息することから、これら希少な生物の生息環境保全に留意しつつ、国有林野を適切に管理していく必要があります。
- ・ 国民参加による森林づくりへの関心が高まっていることから、これらの要請に適切に応えていく必要があります。
- ・ 国民が安全・安心に暮らせる環境づくりに向けて、治山対策に取り組む必要があります。

## (2) 計画内容

- ・公益的機能の維持増進を旨とする管理経営を行うとの方針の下、多様で健全な森林の整備・保護を行う方向です。
- ・亜熱帯特有の貴重な植物種の保護を目的とする保護林及び自然の観察などの利用を目的とするレクリエーションの森については、維持する方向です。
- ・絶滅のおそれのあるイリオモテヤマネコやカンムリワシ等が生息しており、生物多様性の保全を推進する観点から、生息や繁殖の環境に配慮した森林施業、森林の保護・管理に努める方向です。
- ・社会貢献活動として森林づくりに参加・協力したいとする企業等の要請に応えるため、「協定締結による国民参加の森づくり」制度等を活用して、森林整備を推進する方向です。
- ・民有林と連携して効果的な治山事業の実施に取り組むとともに、地域住民と協働して災害を減らす対策を進める方向です。